

R7 魚津市のコミュニティ・スクール⑤

道下小学校

5/23(金)に第1回学校運営協議会が開催されました。6年度に引き続き、会長に本元委員(道下地区振興協議会 会長)、副会長に住田委員(道下地区民生児童委員協議会 会長)が選出されました。

校長の長崎委員から、学校要覧や学校だよりを基に、学校運営方針の説明がありました。その中で、「**ふるさとから学ぶ教育**」を重点の一つに掲げ、具体的には道下コミュニティセンターとの連携した取組みを大切にしたいとの話がありました。他の委員からは、「コミュニティセンターのサークル活動が充実しており、親としていろいろなことを体験させたい、ぜひ継続してほしい」「これだけ豊富な種類の活動は珍しい」との意見がありました。

学校だよりにも「**地域とともにある学校 ～地域で支えられて育つ子供たち～**」と題して、コミュニティ・スクールの意義や地域と学校との協働活動への協力・支援について記載されていました。

◆学校の教育目標

豊かな心を持ち たくましく生きる子供を育てる

〈育てたい児童像〉 やさしく(徳) かしこく(知) 元気な子(体)

〈目指す学校像〉 一人一人の子供がよさを発揮し生き生きと学ぶ学校
 ・子供にとって安心して楽しく過ごせる学校
 ・教職員にとって、やりがいと誇りをもつことができる学校
 ・家庭や地域と連携・協働し、信頼される学校

◆本年度の重点

- ・気持ちのよい挨拶や返事をする子供、互いに認め合い、助け合う子供の育成
- ・主体的に学び、関わり合いを通して学びを深める子供の育成
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」に取り組み、望ましい生活習慣を身に付ける子供の育成

やさしい心の子

- 通い人間関係づくり
- 授業や学級活動、縦割り班活動を通して通い人間関係づくり
- 道徳教育、いのちの教育、人権教育の充実
- ※思いやりの心育成(望ましい人間関係、信頼関係)
- 心のもちた接遇
- ふるさとから学ぶ教育
- ※道下3つに学びのつながりの連携

かしこい子

- 分かる授業づくり
- 基礎的・基本的な学習内容の確実な習得
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- ※「対話的な学び」「振り返り」を工夫した授業づくり
- 学ぶ意欲の高揚につながる生徒指導の機能を生かした授業と学習づくり

元気な子

- 心身の健康づくり
- 「みんなでチャレンジ3015」の活用による体力づくり
- 安全意識の向上
- ※危険予測、回避能力の育成
- 家庭と連携した望ましい生活習慣の定着
- 家庭と連携した望ましい生活習慣の定着
- ※「早寝、早起き、朝ごはん」による継続的な生活づくり
- ※感染症、熱中症等の予防

家庭・地域で取り組みたいこと

家庭のふれあい(ふれあいたっぷり)

- 家庭、地域の中で挨拶をかわし、気持ちを伝えあふれあいを大切にします
- ※はよう、ただいま、おかえり、ありがとう、こんばんは、よかたね(愛護と大切にともに成長する心のふれあい)
- 家庭で決めた手伝いを継続的に行う
- ※家族の一員として共に支え合う喜びを大切にします。(自己有用感、自立心)

家庭学習の習慣づけ(学習こつこつ)

- 家庭学習の習慣を大切にします
- 学習意欲を大切にした学習環境を整えます
- ※やる気や伸ばす言葉かけ
- ※個々の興味や関心に応じた学習(自主学習ノート等の活用)
- ※習字や家庭の学びが広がる一人一台端末の活用等

規則正しい生活リズム(けじめしゅかり)

- 「早寝、早起き、朝ごはん」に取り組み、生活リズムを整えます
- ※適切な睡眠時間の確保を重視し、ゲームやテレビの視聴時間を家庭ルールを設けて実質化する
- ※自分で決めたことを守ることのよさを実感できるように支援する
- 感染症、熱中症等の予防を心がける
- 他者との関わりを通して社会的マナーや思いやり等を学ぶ

◆アクションプラン

進んで挨拶する態度の育成

- 進んで挨拶している
- ・児童の自己肯定感
- ・教員の評価

協働し学ぶ授業づくり

- 児童と関わり合い、よりよい学び

望ましい生活習慣の育成

- 1〜3年生は、4〜6年生は、80%以上

学校運営方針 グランドデザイン

地域とともにある学校 ～地域で支えられて育つ子供たち～

市内の小・中学校では、令和6年度よりコミュニティ・スクールを導入しています。コミュニティ・スクールを分かりやすく言うと、目指すべき教育や育てたい子供の姿を地域と学校とが共有し、お互いが当事者となって子供たちを育てていく仕組みと言えます。

道下小学校は、これまで地域との関わりが深く、地域の皆様に支えられている取組が大変多いことに、心より感謝しております。今後も、「地域とともにある学校」を目指し、地域の皆様と協働し子供たちの成長を支えていきたいと考えております。



1〜3年生は、ボランティアの「低学年の下校時には、パトロール」コミュニティ・センターの道下サークルも子供たちが楽しみにしている活動の一つです。写真は5/10:毎回楽しみにしています。

学校だより 第1号

縦割り遠足や**14歳の挑戦**等でお世話されている委員から、「地域の大人が積極的に子供に声をかけることが大切」との意見がありました。意見交換の中で「**子供の安全**」について話題となりました。

子供の安全について、「一人で子供が歩く姿は少なくなった」「地域の活動の行きかえりについて、どこまで段取りすればよいか迷うことがある」「道下地区のまちづくり委員の中に安全を担当する部会がある。ぜひ、夏の通学路点検の際に委員に声がけしてほしい。連携して取り組みたい」など、具体的な意見、提案が出されました。